

京都市立御池中学校	中学生の紹介文
<p>『東京23/奴隷区』</p> <p>岡田 伸一 /著</p> <p>KADOKAWA</p>	<p>勝負をして負かしたら、相手を服従させられる機械を手に入れた23人の男女が欲、金、復讐さまざまな目的のために勝負を繰り返し、お互いを服従させていく。壮絶な騙し合いの果てに笑うのはだれだ。東京を舞台に尊厳を懸けたマインドゲームが始まる。</p>
<p>『珈琲店タレーランの事件簿』</p> <p>＜また 会えたなら、 あなたの淹れた珈琲を＞</p> <p>岡崎 琢磨 /著</p> <p>宝島社</p>	<p>「一出会った！」</p> <p>コーヒー好きの青年アオヤマは、偶然入った珈琲店で理想というべきコーヒー、聡明な頭脳をもつバリスタの切間美星(きりまみほし)と出会う。その店は「純喫茶タレーラン」。2人は謎を次々と解き明かしていくが…。美星の秘められた過去、アオヤマの秘密とは！？</p> <p>軽快な会話と見せかけが面白い！</p> <p>京都が舞台のコーヒーミステリー！！</p>
<p>『掟上今日子の遺言書』</p> <p>西尾 維新 /著</p> <p>講談社</p>	<p>私の名前は掟上今日子 25歳。白髪。ねむるたび記憶がリセットされる。</p> <p>『ぐしゃり、と卵を潰したような音がした。』</p> <p>ある日、不運な男 隠館厄介(かくしだてやくすけ)がバイト先の店から出ると屋上から少女がおちてきた。少女の名は逆瀬坂雅歌(通称:遺言少女)隠館厄介は遺言少女が自殺しようとした理由を探るために一度寝ると記憶がリセットされる探偵掟上今日子に依頼する。推理と記憶のはかなさ、そして少女が自殺しようとした理由そして、終章で語られる飛び降りを防ぐ方法とは！</p>
<p>『空想科学読本』</p> <p>柳田 理科雄 /著</p> <p>KADOKAWA</p>	<p>この本は、テレビやマンガ、アニメなどで起きる現実には絶対に起きないことを、現実には絶対に起きないことを現実にある法則にのっとって科学的に考えていくという本です。その例として「ドラえもん」や「アンパンマン」などの子供も知っていることに対しても、科学的に考えていきます。好きなマンガやアニメなどのことを真剣に、またおもしろく知ることができ、科学のことも知ることができるので一石二鳥なおすすめの本です。</p>

京都市立太秦中学校	中学生の紹介文
<p>『十津川警部 赤と青の幻想』</p> <p>西村 京太郎 /著</p> <p>文芸春秋</p>	<p>人気写真家 君原文明とベテラン女優の真木昭子が相次いで殺された。どちらの現場にもなぜか赤いサクランボの実をつけた枝が残されていた。青い目を持つミステリアスな美青年の正体とは？幾重にも錯綜する事件に十津川警部の名推理が迫る。</p>
<p>『ちょっと今から仕事やめてくる』</p> <p>北川 恵海/著</p> <p>KADOKAWA</p>	<p>”スカッとできて最後は泣ける”</p> <p>ブラック企業で働く隆は、線路に飛び込もうとしている所を「ヤマモト」と名乗る男に助けられた。心を開き、仕事のなやみを聞いてもらったりしていたけど…。</p> <p>いったい彼は誰なのか。どうして助けてくれるのか。感動の物語。</p>
<p>『ソードアート・オンライン(SAO)#1』</p> <p>川原 礫 /著</p> <p>KADOKAWA</p>	<p>[読みやすい]</p> <p>字数が多い本ですが、途中にさし絵があったりするので、読みやすく、内容もわかりやすくなっています。</p> <p>[シリーズ別で読める]</p> <p>シリーズが現在21巻まであり、こまめに読むことができます。</p> <p>[同類作品もある]</p> <p>『ソードアートオンライン・オルタナティブ』</p> <p>『ソードアートオンライン・オルタナティブガンゲイル・オンライン』</p> <p>『ソードアートオンライン・オルタナティブ クローバーズ・リグレット』があります。ぜひ読んでみてください！！</p>

京都市立七条中学校	中学生の紹介文
<p>『学校裏サイト』</p> <p>二宮 敦人/著</p> <p>アルファポリス</p>	<p>★ようこそ★          ここは日木日月学院          二年B組の裏サイトです          関係者以外立ち入り禁止！</p> <p>この本は、タイトル通り「学校裏サイト」で起こる様々な問題から、だんだんと人間関係が崩れてしまうのを止めるべく、主人公サツキが裏サイトをつけた「伝道師」の正体をあばこうとするお話です。</p> <p>ぜひ読んでみてね！</p>
<p>『絶叫学級』          ナイモノねだりの報い編</p> <p>いしかわ えみ/原作・絵          桑野 和明/著</p> <p>集英社</p>	<p>この本は「性格ガチャポン」「夢をみる少女」「男の子と女の子」「本音キャンディー」の4つの話が入っています。全世代の人が楽しめるけど少しホラー入り...という所も楽しめる要因の一つだと思います。その中でも「性格ガチャポン」はガチャポンでとったカプセルを開けたら、カプセルに書いてある性格に変われるというものだけど、これが物語を動かすことになるので、ぜひ読んでみてください！</p>
<p>『5秒後に意外な結末          (シリーズ)』</p> <p>桃戸 ハル/編著</p> <p>学研プラス</p>	<p>この本は、題名通り5秒くらいで読めて、予想外なことが起こるショートノベルスです。しかも100連発！！長い本があまり好きじゃない私も気軽に読めて話がさくさくすすむので、是非読んでみてください！！</p>
<p>『いつか、眠りにつく日』</p> <p>いぬじゅん/著</p> <p>スターツ出版</p>	<p>&lt; 最後に予想外の結末が！ &gt;          高校2年の蛍という主人公が、修学旅行の途中交通事故にあい死んでしまう。          次に蛍が目覚めた時には、案内人と名乗る男が立っていた。その男は、お前は死んだと伝えるとともに3つの試練を解消しないとイケないという。          未練解消に動き出した蛍は、自分の知らなかったこと、分からなかったことをたくさん知る。そして最後、蛍はどのようなのか！？</p> <p>★コメント          この本で私は「命」「生きること」「言葉を伝える大切さ」というものを教えてもらいました。          おもしろいので是非読んでみてね</p>

京都市立音羽中学校	中学生の紹介文
<p>『雨ふる本屋』</p> <p>日向 理恵子 /作</p> <p>童心社</p>	<p>かたつむりを追いかけいているうちに、部屋の中なのに雨が降っているふしぎな古本屋にまよいこんでしまったルウ子。</p> <p>図書館からはじまるふしぎな冒険を見てみてください。</p>
<p>『いつか、眠りにつく日』</p> <p>いぬじゅん /著</p> <p>スターツ出版</p>	<p>高校2年生の女の子蛍は修学旅行の途中、交通事故にあい、命を落としてしまう。案内人が現れ、成仏する為、3つの未練を乗り越えていく話です。蛍の決心の先にあった大きな秘密とは！？</p> <p>☆読んでみて・・・          この本では、生きる事への幸せや信頼関係の深さなどを知る事ができました。ラストの部分では驚きもありましたが、それ以上に感動がありました。          誰も予想できなかったラストに涙          読んでみたい方は書店にて！！</p>
<p>『君はわらうかな』</p> <p>菊田 まりこ /著</p> <p>学研教育出版</p>	<p>この本は小説とはまた違って、短めのお話です。だから何かの合間に読めたり気分転換で読み終われる長さなので、本がニガテな人でも気軽に読めるのではないのでしょうか！？</p> <p>登場人物は2人で、その2人で会話しているようなストーリーになっています。          自分に問われているような文がお話の初めにあるので、自分でも考えながら飽きずに最後まで楽しめると思います。          ー大きな宇宙の中にある          ちっぽけな僕の世界ー</p>
<p>『掟上今日子の          備忘録』</p> <p>西尾 維新 /著</p> <p>講談社</p>	<p>「主人公」掟上今日子は、置手紙探偵事務所の所長であり、探偵です。今日子さんには特殊な能力があります。それは寝ると記憶がリセットされてしまうことです。そのことから彼女は「最速」の名探偵といわれています。そんな今日さんと隠館厄介、その他、個性的な登場人物が繰り広げるおもしろい推理小説です。</p> <p>・おすすめポイント・          ①5つのお話に分かれているのでとても読みやすいです。          ②読んだ瞬間から、物語の世界に入って楽しめます。          ③他にも掟上今日子シリーズの本があります。少し不思議でおもしろいです。ぜひ読んでみてください！</p>

京都市立下京中学校	中学生の紹介文
<p>『君の臍臓をたべたい』</p> <p>住野 よる / 著</p> <p>双葉社</p>	<p>ある日、高校生の僕が病院で一冊の本を拾う。その本の名前は「共病文庫」。共病文庫には日々の日記や臍臓の病気で余命が短く、長く生きられないと書いてあった。その共病文庫の持ちぬしがクラスの人気者、山内桜良であった。その共病文庫との出会いによって僕は山内桜良と仲をちぢめていく。ある日、待ち合わせをしている時、2人に悲劇がおこる。彼女が書いた共病文庫を見て僕が泣いている姿に心が痛くなります。すごく感動するし、自然と涙が出てくるような話です。ぜひ読んでみてください！</p>
<p>『氷山の南』</p> <p>池澤 夏樹 / 著</p> <p>文藝春秋</p>	<p>この物語の舞台は、南極の氷山を持ち帰るための船の上です。主人公のジン・カイザワは密航者として、この船に乗り込みます。ジンは氷山を見たり、アボリジニーの友達のジムと一緒に不思議な体験をしたりします。読んでみるだけで冒険できる、とても面白い本です！</p>
<p>『ふたご』</p> <p>藤崎 彩織 / 著</p> <p>文藝春秋</p>	<p>この本の著者は、SEKAI NO OWARIのバンドメンバーです。そんな藤崎彩織さんの経験をもとにした小説です。主人公が中学生の頃から始まります。一つ上の月島と仲良くなり、そこからの二人の関係をえがいています。この本の魅力は、二人が話をしているシーンです。ぶつかってしまう二人だけど、言葉の話をする時はとても楽しそうに、そして真剣に語り合います。精神病で苦しむ月島、月島の変化に苦しむ主人公、なっちゃん。辛い場面が多い物語ですが、読み進めていくと自然とひきつけられて、とても面白い本です。</p>

京都市立西賀茂中学校	中学生の紹介文
<p>『ころ』</p> <p>夏目 漱石 / 著</p> <p>新潮社</p>	<p>”明治末期のお話”</p> <p>「私はその人を常に先生と呼んでいた」という書き出しで始まるこの本は、人生の目標を見失った私が「先生」と呼んでしまうほど豊富な知識を持っているが、「恋は罪悪ですよ」や「私は人間全体を信用していない」等、謎の多い「先生」との物語だ。『ころ』の約3分の1を占める遺書で、先生の謎が明らかに！？</p>
<p>『海に願いを風に祈りを そして君に誓いを』</p> <p>汐見 夏衛 / 著</p> <p>スターツ出版</p>	<p>しっかり者の凧沙と素直すぎる優海は幼馴染で恋人同士。幸い過去から、お互いを守り続け深めた愛と絆。しかし…ある理由をきっかけに凧沙は優海との関係を変えようとする。深い愛と絆で結ばれている二人はいったいどうなるのか！？</p> <p>予想もしていない結末にあなたはきっと涙する。あの言葉も笑顔も涙も全てが愛。どんなに悲しい運命でも—大切な君の幸せだけを願っている。</p> <p>”この一冊があなたを変える”</p>
<p>『学戦都市アスタリスク』</p> <p>三屋咲 ゆう / 著</p> <p>KADOKAWA</p>	<p>この本は主人公天霧綾斗(あまぎりあやと)が自分の成すべき事を見つけるために6つの学園の一つ「星導学園」に特待生として転入する。祖国の友人たちの貧困や統合企業財体の圧力から救うため「星武祭」という大規模な武闘大会で優勝すべく一人奮闘する少女、ユリスニアレクシア・フォン・リースフェルトと出会った。綾斗はユリスの力になる事を決意して星武祭に挑みユリスと優勝を狙いに行く恋愛マンガです！！</p>
<p>『また、同じ夢を見ていた』</p> <p>住野 よる / 著</p> <p>双葉社</p>	<p>主人公の女の子は、「人生とは—」が口癖のとてもかしこい小学生。女の子は不思議な出会いをしていきます。季節を売る仕事をしている「アバズレさん」、手首に傷がある「南さん」、お菓子作りが上手な「おばあちゃん」。</p> <p>—『人生とは。全て、希望に輝く今のあなたのものよ。』—</p> <p>「幸せとは何か」を見つける宿題を、アバズレさん達と考え、人と関わることも学んでいきます。『君の臍臓をたべたい』の著者が贈る、幸せを探す物語。</p>

## 『忍びの国』

和田 竜 /著

新潮社

これは、戦国時代に伊賀の国とそれを滅ぼそうとする織田家の話です。白熱する戦いのシーンや人として考えさせられる場面などとてもおもしろいです。

ぜひ読んでください。

## 『Re:ゼロから始める異世界生活』

長月 達平 /著

KADOKAWA

突然異世界に召喚された平凡な高校生、主人公のナツキ スバル。1人の少女に助けられた恩を返すため、「命」を賭け、彼女を助けるため、動き出す。アニメ化、2期制作、映画化の人気作品！

必ずお前を、救ってみせる。  
—たとえ何度忘れられようと  
たとえ何度死のうと—

## 『サッカーのスゴイ話』

本多辰成・新井優佑 /著

ポプラポケット文庫

この本は、サッカーの戦術、ポジション、ドリブル、パスなどのサッカーに関することがかかれています。でもサッカーをやったことがないという人でもおもしろく読める話や感動する話もあるのでぜひ読んでみてください。

## 『星の王子さま』

サン＝テグジュペリ /著  
河野万里子 /訳

新潮文庫

「星の王子さま」という本は、半世紀以上も前に出版され世界中で読まれています。砂漠に飛行機で不時着した「僕」と小さな自分の星を持つ男の子のお話です。その他にもしゃべるバラや地理学者、よっばらい、キツネ、ヘビなど個性豊かな人や動物が出てきます。文章もあまり長くなく、所々に作者の書いたかわいさし絵があり、絵本のように読めます。でも一つ一つに作者の大切なメッセージが込められています。なのでぜひ何度もくり返し読んでみてください。